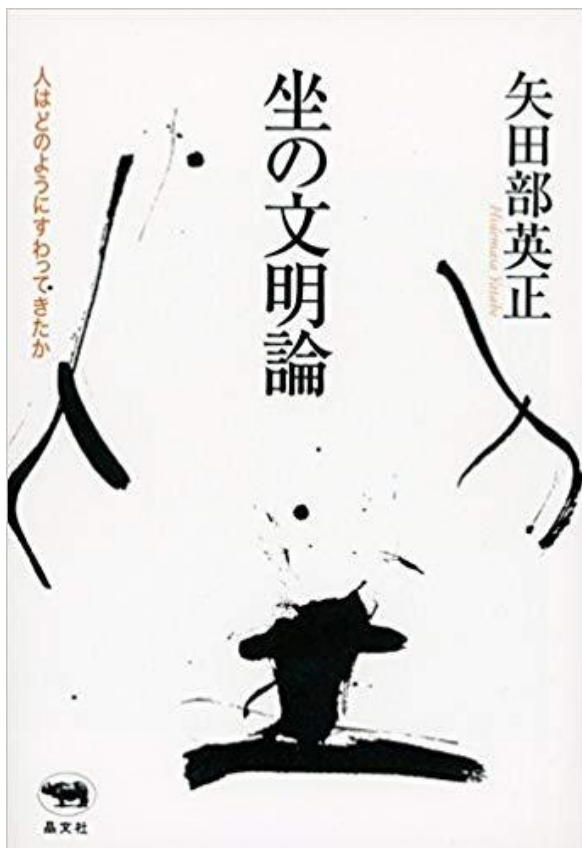


「体育座り」、学校の椅子 見直してみませんか？！

定員
50名
先着順



子どもの姿勢と運動発達

姿勢に関する文化研究の第一人者であり、椅子デザイナーとしてもご活躍されている矢田部さん制作の椅子に実際に腰かけながら、近著「坐の文明論」についてひも解いていただき、テーマに迫る2時間半です。

講師

矢田部英正さん

日時

2018年 10月28日(日)
14:00 開始 16:30 終了予定

場所

和光小学校(世田谷)
小田急線 経堂駅 徒歩12分

参加費

1.500 円

申込み

グーグル
フォーム

主催：子どものからだそだてを考える会
共催：学校体育研究同志会東京支部



こどもたちの健やかな発育・しなやかな発達をいかに保障していくのかは学校教育の大きな課題です。体育科教育に限らず学校全体の問題として、そのための環境づくりやカリキュラム、授業のあり方についてはこれまで様々な理論と実践が積み上げられてきています。

一方で、その土台となる「姿勢」をどのように育てていくのかは家庭の躰の問題とされ、学校で扱うものとして議論されたことはほとんどありません。

しかし、学校での時間の大半を椅子に座って過ごす子どもたちにとって、その座姿勢が学びにふさわしいものになっているかどうかは大きな問題です。多くは姿勢の崩れが意志・意欲との関連で語られ、椅子や机・学習形態との関連で問われたことはないのではと思われまます。また「体育座り」とよばれるように、学校独自の坐の文化が子どもの体を規定していることも見過ごせません。

今回は、姿勢の文化・坐の文化史研究の世界的権威であり、みずから日本人のからだ・生活様式にあった椅子の制作者として活躍されている矢田部英正氏のワークショップを企画しました。実際に矢田部氏がデザイン・制作された学校椅子や大人用の一点物の椅子に腰かけて、からだの変化を感じ取りながら近著「坐の文明論」をひもといていただきます。

子どもの育ちにとっての「姿勢」「坐」と学校教育のかかわりについて、じっくりと深めていく2時間半にしていきたいと考えています。

講師紹介：矢田部英正

日本身体文化研究所主宰

被服学博士/体育学修士

武蔵野美術大学 放送大学 講師



撮影 佐藤隆俊

学生時代は体操競技を専門とし全日本選手権等に出場。

選手時代の姿勢訓練が嵩じて日本の伝統的な身体技法を研究する。

身体を軸とした「もの」の研究は、椅子から食器・服飾・建築におよび、1999年より椅子の開発に着手、デザイン・制作を手がける。

著書に

『椅子と日本人のからだ』 晶文社

『たたずまいの美学～日本人の身体技法』 中央公論新社

『美しい日本の身体』 筑摩新書

『からだのメソッド』 バジリコ出版 など。

問い合わせ先：子どものからだそだてを考える会

代表 浅川俊彦 toshi-a@hs.p.u-tokyo.ac.jp

副代表 増田 陽 yo-zep@jcom.home.ne.jp